

食育サポートセンター活動報告書

平成 24 年度食育サポート運営委員会



平成 25 年 3 月

食育サポートセンター



平成 18 年 9 月 28 日開設

基礎・専門教育の実施



授業（栄養教育論実習Ⅰ）の一環として、学生が作成した媒体を用いて、神埼市内の保育園、小学校で学外実習を行いました。

食育推進リーダー養成講習会

◆県の取組について

「平成 23 年度県民健康・栄養調査の結果報告」

佐賀県健康増進課 副島裕子氏



◆講演

「減塩で生涯食育・生涯健康、そのためには町ぐるみの減塩環境」

講師：日下医院院長

「こだわりのヘルシーグルメがイットレストラン in 呉」プロジェクト代表

日下美穂氏



あすなる隊の活動



学園祭での活動



神埼高等学校での食育バイキング講座



吉野ヶ里町健康福祉フェスタ



子育て支援イベント



さが食育フェスタ



はじめに

食育サポートセンター運営委員会
委員長 高橋 忠夫

食育サポートセンターは、今年で7年目の活動を終えることができ、本年度の活動報告書がまとまりました。

食育サポートセンターは、この間、試行錯誤を繰り返しながら地道に地域に根差した地域貢献活動を続けてきました。近年、文部科学省は、大学は地域に貢献する「地（知）の拠点」として、地域コミュニティの中核的存在（COC）としての機能を強化するように求めています。その意味では、食育サポートセンターの活動は佐賀県とも、地元の神崎市とも協定を結んで活動の幅を広げてきましたのでCOCのニーズの一つとなりうるものではないかと思えます。

本年度は特別に大きな事業を実施したり、参加したということはありませんが、特筆すべきは、あすなる隊の学生たちのなかに、学生たち自身の希望を取り入れながら4つのグループが立ち上がり、活動したことだと思います。活動の詳細は、本文をご覧ください。

また、佐賀県との協定に基づいた県の委託事業である「食育推進リーダー養成講習会」も例年通り実施いたしました。今年、特に広島県呉市で開催された「減塩サミット in 呉 2012」の代表を務められた日下医院院長の日下美穂先生をお招きして「人を育てる食育！ 地域を育てる食育！」をテーマに減塩に関するご講演をいただいたことも大きな成果だったと思います。一方、神崎市との取り組みの一環として、昨年度は地産地消お弁当第2弾として「神崎のめぐみ：さくら弁当」を開発しましたが、今年、同じく神崎市および地元業者（梅の花）と地元食材を利用した調理パン「そいそい」（160円）を開発し発売することができ、このことは、生活情報誌月刊ぷらざ佐賀でも紹介されました。

その他、大学祭では、本学の学生のみならず地元の皆さんが大勢、食育サポートセンターのブースに来ていただきましたし、吉野ヶ里町健康福祉フェスタや、さが食育フェスタへの参加等、今年も盛りだくさんの事業に参加させていただきました。

こうした活動を行うことができたのも、皆様のご理解とご協力があればこそと、改めて感謝する次第です。どうか、ここにお届けした報告書をご一読くださり、お気づきの点など、ご意見、アドバイス等いただければ幸いに存じます。

目 次

I	平成 24 年度事業の成果と課題	1
II	味覚教育と専門教育の実施	6
III	学生食育ボランティアあすなろ隊	9
IV	平成 24 年度活動報告	10
	1. 活動報告① (食育推進リーダー養成講習会)	12
	2. 活動報告② (学生食育ボランティアあすなろ隊活動報告)	14
	3. 活動報告③ (学園祭)	22
	4. 活動報告④ (学生組織の各グループの活動)	23
	5. 神崎市との取り組み	25
	6. 教材の貸出状況	26
V	食育サポート運営委員会	28
VI	食育サポート事業協議会	32

